



横井 克典 議員 無会派

問 十四山中学校跡地で新築を 答 十四山西部小を改修と増築

○小学校再編整備事業の見直しについて以下を問う。

問 市長は、市民説明会に出席していないが、市民から当該事業を理解されたと胸を張って言えるか。

答 (市長) 教育長、副市長から報告を受け、市民の声をしっかりと受け止めている。

問 長寿命化工事の国庫補助金を受けるには、既存校舎を30年以上使用するという要件だが、市民説明会などで説明したか。

答 (教育部長) 説明していない。

問 整備指針には、将来負担の財源内訳が示されていないが、説明したか。

答 各学校の仕様が決まらないので、詳細な工事費が算出できない。

問 校舎などの建築年や耐震基準などの説明はしたか。

答 説明していない。

問 新築と長寿命化工事とで、**※ライフサイクルコスト**の検討はしたか。

答 算出していない。

※ライフサイクルコスト
公共施設の建設費用や維持管理費用などの総費用。

問 ライフサイクルコストの説明はしたか。

答 説明していない。

問 各学校の支持杭の長さ。

答 栄南小と大藤小46m、大藤小の一部と十四山東部小と十四山西部小5m。

問 強固な支持地盤まで打設されていない学校は。

答 十四山東部小と十四山西部小。

問 市民説明会などの資料に支持杭の長さを掲載したか。

答 説明会で質問があれば説明。

問 十四山西部小の校門付近は、大雨になると水が溜まることを承知しているか。

答 (副市長) 承知している。今後対応するため、原因を調べている。

問 新設校に止水板設置の考えは。

答 考えはない。

問 4小学校の運動場の標高は。

答 (教育部長) 大藤小は、マイナス0.6m。栄南小は、マイナス0.8m。十四山東部小は、マイナス1.7m。十四山西部小は、マイナス1.9m。

問 市民説明会などで標高の説明はしたか。

答 説明していない。

問 再編校は防災面に考慮し、名古屋市の基準に準拠した高上げをする考えは。

答 (市長) 一階は浸水する想定で設計を進めていく。



▲同小学校の廊下



▲同小学校のベランダ



▲十四山西部小学校